

研究分野		授業科目名			科目責任者		
生理系分野		小児病態学特論Ⅱ			榎 日出夫		
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
小児疾患の病態解明を目的として、基礎ばかりでなく臨床現場における疑問点を抽出し、これを解明するために必要な実験計画や臨床研究計画の立案と評価をする。							
授業到達目標							
(1) 小児疾患の病態・診療における疑問点を抽出できる。 (2) エビデンスの集積ができる。 (3) エビデンスの評価ができる。 (4) 研究計画の立案ができる。 (5) 研究データの評価ができる。 (6) 研究データに基づいて研究計画の改善ができる。 (7) 自分の意見を他の参加者に要領よく伝達できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	毎週	火	12:30-13:00	大石 智洋 榎 日出夫 栄徳 隆裕 加藤 敦	講義	[研究検討会]	ヌーンカンファレンス (小児の各領域の最新情報の紹介) [場所:本館棟 12 階中カンファレンス室 1]
2	毎週	火	16:30-17:00	大石 智洋 榎 日出夫 栄徳 隆裕 加藤 敦	講義	[症例検討会]	小児救急医療各科連携カンファレンス (多科多職種が参加する小児救急患者の症例検討) [場所:本館棟 12 階中カンファレンス室 1]
3	月 1 回	木	8:30-9:00	大石 智洋 栄徳 隆裕 田中 孝明 加藤 敦	講義	[症例検討会]	小児医療センター・新生児センター合同カンファレンス (多科多職種が参加する新生児患者の症例検討) [場所:本館棟 5 階カンファレンス室 3]
評価方法							
(1) 1年間※で、講義は 30 時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を 2 回行い、その要約 2 編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 ※ 2 月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33 頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
症例要約について、添削して返却しフィードバックする。							
教科書							
ISBN-999612018X, Nelson textbook of pediatrics, [edited by] Robert M. Kliegman ... [et al.], Elsevier, 2020 ISBN-9784260036252, 新生児学入門(第 5 版), 仁志田 博司, 医学書院, 2018							
参考書							
ISBN-9780323482554, Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious Diseases (2 volume set) (9th Edition), John E. Bennett, et al., ELSEVIER, 2019 ISBN-9780323376921, Feigin and Cherry's textbook of pediatric infectious diseases, [edited by] James D. Cherry ... [et al.], Elsevier, 2019							
準備学習(予習・復習等)							
各カンファレンスで提示される症例に関連する疾患を Web, 教科書, 参考書で調べる。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
関連する課題を探究し、仮説立脚, 検証に至るまでの科学的方法論・思考法を習熟する。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎的および臨床的英文論文を読む習慣を身につけてください。							